

農山漁村地域整備計画事前評価シート

【計画の名称】袋井市農業集落排水処理施設の機能強化

【計画策定主体】静岡県袋井市

【計画期間】令和2年度～令和4年度（3年間）

【計画の目標】対象の農業集落排水処理施設（1施設）は、廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理基本計画中の「生活排水処理基本計画」に農業集落排水処理施設として位置付けられており、対象事業により農業用排水の水質保全、農村生活環境の改善を図り、品質の高い農業の実現及び住み良い農村社会を形成する。

【評価指標】適切に維持管理を行うとともに、劣化状況や周辺地域の環境変化に合わせて適切に機能強化工事を実施し、処理能力及び放流水質の維持に努める。

放流水質 生物化学的酸素要求量（BOD） 20 mg/l 以下の維持
浮遊物質（SS） 50 mg/l 以下の維持

I. 目標の妥当性	(評価内容)
① 関連する計画との整合性	静岡県生活排水処理長期計画や袋井市一般廃棄物処理基本計画「生活排水処理基本計画」等の上位計画との整合が図られている
② 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	農業集落排水処理施設の適正な管理を目標としている
II. 計画の効果・効率性	
① 整備計画の目標と定量的指標の整合性	施設の機能強化工事による水質保全のため、浄化槽法に基づき指標を策定する
② 指標の事後評価の妥当性(事後評価ができる適切な指標)	事業完了時に、水質調査を確認することで事後評価が可能
③ 指標の妥当性(構成事業の実施による効果を評価するに当たり適切な指標)	機能強化工事を実施することにより、施設の有効利用、長寿命化が図られ、放流水質の維持が図られる
III. 計画の実現可能性	
① 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	袋井市の推進体制が整備されており、円滑な事業実施が可能である
② 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	地元住民は安定した生活排水処理を望んでおり、機能強化は不可欠である